medela

Supplemental Nursing System

No. 1 choice of hospitals & mothers

JA 使用説明書

BPA Bisphenol-A free

SNS 母乳哺育補助システムをお選びいただき、ありがとうございます。SNS 母乳哺育補助システムは、赤ちゃんへの直接授乳を手助けし、授乳への意欲を高める哺乳ソリューションです。

もくじ

1. 使用目的/対象 – 禁止事項 5
2. 各記号の意味 6
3. 重要な安全事項 8
4. 製品説明 9
4.1 製品の部品 9
4.2 素材 9
5. 洗浄 10
5.1 家庭での洗浄 10
5.1.1 初回使用前に 10
5.1.2 使用後 11
5.1.3 1 日 1 回 11
5.2 病院での洗浄 12
5.2.1 初回使用前に 12
5.2.2 使用後 12
5.2.3 1 日 1 回 12
6. SNS の組み立て/授乳の準備 13
7. 授乳用品 16
8. SNS の分解 20
9. 廃棄の方法 20
10. 製品タイプと消耗品 20
11. 技術規格 21

1. 使用目的/対象 – 禁止事項

母乳哺育補助システムの使用目的
母乳哺育補助システムは、母乳授乳時の赤ちゃんに補助栄養を与えるための製品です。この製品の使用目的は、授乳が困難な赤ちゃんへの授乳を可能にすることです。SNS は、吸てつのトレーニングになると同時に、お母さまの母乳産生も促します。SNS を使うことで、お母さまとお子さまとの間のかけがえのない肌の触れ合いを保つことができます。

お母さまが搾乳した母乳、強化母乳、フォーミュラのいずれであっても、このシステムで使用可能です。

対象となるお母さま/ユーザー
母乳哺育補助システムは、赤ちゃんの吸てつ力が弱い場合や、長く吸てつしていられない場合に使用します。また、母乳の産生が少ない場合や、養子の赤ちゃんに母乳を与える場合にも、SNS を使うことができます。

禁止事項
お母さまの病状により授乳ができないときには、SNS を使うことはできません。また、赤ちゃんに悪影響のある薬を使用しているお母さまも、SNS を使ってはいけません。

詳細情報をお住まいの地域の言語で閲覧できます:

または、当社のウェブサイト **www.medela.com/sns** をご覧ください。

2. 各記号の意味

警告記号は安全性を確保するのに大切な指示を示すものです。指示に正しく従わないと、怪我やさく乳器の破損を招く恐れがあります。警告記号には複数の種類があります。各記号は、それぞれの内容を示す文字とともに表示されています。警告記号/文字の組み合わせは以下のとおりです。

注意
この種類の警告に従わないと、(軽度の)怪我や、汚染/細菌の繁殖を招くことがあります。

指示
この種類の警告に従わないと、製品に損傷が生じるおそれがあります。

情報
有用または大切な情報で、安全とは関係のないものです。

パッケージ上の記号

この記号は、部品が回収/リサイクル材料を使用していることを示しています。

この記号はカートンパッケージであることを示しています。

この記号は直射日光に当ててはいけないことを示しています。

この記号は壊れやすい機器であるため慎重に取り扱う必要があることを示しています。

この記号は操作、輸送および保管上守るべき温度制限を示しています。

この記号は操作、輸送および保管上守るべき湿度制限を示しています。

この記号は操作、輸送および保管上守るべき大気圧制限を示しています。

この記号は製品が乾燥状態を保つ必要があることを示しています。

この記号は製品素材が食品と接触してもよいことを示しています。

この記号は独自の GSI グローバルトレードアイテム番号 (GTIN) を示しています。

この記号は取扱説明書を参照すべきであることを示しています。

この記号は製造元を示しています。

3. 重要な安全事項

赤ちゃんの安全と健康のために
警告!
以下の内容に従わない場合、製品が危険な状態になることがあります。

SNS には耐熱性がありません。暖房器具や火から遠ざけてください。

SNS を直射日光にさらさないでください。

SNS の部品に摩耗や破損がないか確認してください。欠陥のある製品は決して使用しないでください。部品に損傷や欠陥が認められた場合、廃棄してください。

衛生上の理由から、30 日の使用後(ご家庭での使用)、または 24 時間ごと(病院での使用)に、チューブを交換することをおすすめします。

健康を害するおそれがあるため、2 人以上で SNS を共同使用しないようにしてください。

本製品は常に大人の監督のもとにご使用ください。使わない部品はすべて、子供の手の届かない場所に保管してください。

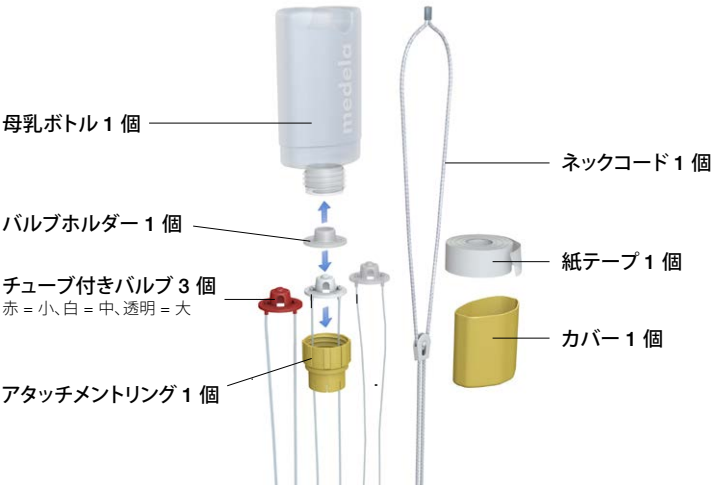
乳房に問題や痛みが生じた場合は、母乳育児の専門家または医師にご相談ください。

重要

- SNS は保管用の機器ではなく、授乳用の機器です。母乳の保管には使用しないでください。
- 母乳ボトルなどの部品は凍ると壊れやすくなり、落下により破損する恐れがあります。
- また、母乳ボトルなどの部品は雑に取り扱うと(例:落とす、過度に締める、倒す)、損傷を受ける恐れがあります。
- 母乳ボトルや部品の取り扱いには十分ご注意ください。
- 母乳ボトルや部品に傷や損傷などがある場合は、使用を中止してください。
- 授乳前に、母乳の温度を必ずチェックしてください(火傷の危険性があるためです)。
- 母乳を電子レンジで温めないでください。加熱にむらが生じ、赤ちゃんが火傷をすることがあります 。

4. 製品説明

4.1 製品の部品



4.2 素材

ネックコード:	ナイロン、金属
母乳ボトル/アタッチメントリング/カバー:	ポリプロピレン
チューブ:	シリコーン
バルブ:	ポリプロピレン
バルブホルダー:	シリコーン
紙テープ:	紙

製品タイプについては、第 10 章をご覧ください。

5. 洗浄

⚠ 注意

- 残っている母乳が乾燥したり、細菌が繁殖したりするのを防止するために、ご使用後はすぐに全部品を洗浄してください。
- 洗浄には、飲料水と同品質の水をご使用ください。
- SNS の部品を熱湯で洗浄するときは、火傷に気をつけてください。
- 洗浄した部品は、次の使用まで、通気性がよく清潔なバッグ/容器、または通気性がよく清潔な紙/布などを使って保管します。

! 指示

- SNS の部品を煮沸するときは、さじ一杯のクエン酸を入れると、水垢がたまるのを防ぐことができます。クエン酸を使うときは、微量の痕跡が部品に残ることもあります。飲料水と同品質の水をご使用ください。清潔なふきんで水気を拭き取るか、清潔なふきんの上で乾燥させます。
- SNS の（部品）を直射日光や熱にさらさないでください。部品が損傷を受けることがあります。
- 化学滅菌器を使用しないでください。

5.1 家庭での洗浄

1

または

5.1.1 初回使用前に

- SNS を個々の部品に分解してください。*
- 全部品を水ですすぎます。
- 水 50 ml をボトルに満たします。アタッチメントリングとチューブを回してボトルに取り付けます。* 5 秒間振ってから、ボトルを 15 秒間強く押して、水をチューブに通します。
- バルブとチューブをリングから外します。* SNS の全部品を鍋の中に入れます。すべての部品を水に浸して、沸騰後 5 分間煮沸させます。
- ガス台から鍋をおろして、鍋の熱湯を捨てます。
- 鍋の中で部品が冷めるのを待ちます。
- 清潔なふきんで水気を拭き取るか、清潔なふきんの上で乾燥させます。

*SNS の組み立てと分解に関する詳細は、それぞれ第 6 章と第 8 章をご覧ください。

2

指示に従って、QuickClean マイクロスチームバッグ**を使用してください。

5.1.2 各使用後に

- SNS を個々の部品に分解してください。*
- すべての部品を洗剤の入ったぬるま湯（約 50 °C）ですすいでください。1 リットルの水道水に対して、8 ml の食器用洗剤を使用します。
- 母乳ボトルに洗剤の入った水 50 ml を満たします。ボトルに、アタッチメントリングとチューブを回して取り付けます。
- 5 秒間ボトルを振り、次に 15 秒間ボトルを強く押して、洗剤水をチューブに通します。
- 温めていない水道水で a から d までを繰り返します。
- 空のボトルを数回押して、チューブから水滴を取り除きます。
- 洗浄の終わった SNS を個々の部品に分解してください。
- 清潔なふきんの上で乾燥させます。

5.1.3 1 日に 1 回

5.1.2 に記載するとおり SNS を洗浄した後、5.1.1 に記載するとおりシステムを洗浄します。

** 詳細情報については、**www.medela.com** をご覧ください。

5. 洗浄

⚠ 注意

- 残っている母乳が乾燥したり、細菌が繁殖したりするのを防ぐために、ご使用後はすぐに全部品を洗浄してください。
- 洗浄には、飲料水と同品質の水をご使用ください。
- 病院：二次汚染を避けるため、チューブ/バルブのセットを 24 時間ごとに交換してください。5.2.1 に記載するとおり、新しく組み立てた SNS を洗浄します。
- SNS を洗浄するときは、すべての部品を調べて損傷がないか確認します。損傷や欠陥が認められた場合、すぐに廃棄してください。損傷のある部品を新しい部品と交換して、5.2.1 に記載するとおり SNS を洗浄します。

! 指示

- SNS（その部品）を直射日光や熱にさらさないでください。部品の損傷を招くことがあります。

5.2 病院での洗浄

5.2.1 初回使用前に

- SNS を個々の部品に分解します。*
- 全部品を水ですすぎます。
- ボトルを 50 ml の水で満たします。アタッチメントリングとチューブをボトルに回して取り付けます。* 5 秒間ボトルを振り、次に 15 秒間ボトルを強く押して、水をチューブに通します。
- バルブとチューブをリングから外します。* すべての部品を滅菌可能な袋で包みます。すべての部品を 134 °C で 3 分間オートクレーブで滅菌します。または、内部的な衛生ガイドラインに従って滅菌します。

5.2.2 各使用後に

5.1.2.（ページ 11）をご覧ください。

5.2.3 1 日に 1 回

SNS は、1 日 1 回オートクレーブで滅菌する必要があります。通常、チューブを交換するときに行います。

*SNS の組み立てと分解に関する詳細は、それぞれ第 6 章と第 8 章をご覧ください。

6. SNS の組み立て/授乳の準備

⚠ 注意

- 乳房や SNS の部品に触れる前に、（約 1 分間）石けんと水で手をきれいに洗います。

! 指示

- 赤ちゃんがお腹がすいた様子を見せ始めたら、SNS 母乳哺育補助システムを組み立てて準備します。

1

SNS には 3 つのサイズのチューブが付属しています：小（赤いバルブ）、中（白いバルブ）、大（透明なバルブ）。SNS システムを初めて使用するときは、中（白い）バルブから使い始めてください。

2

シリコーンのバルブホルダにバルブを取り付けます。

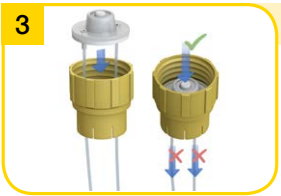
6. SNS の組み立て/授乳の準備

⚠ 注意

- SNS 母乳哺育補助システムは、母乳授乳時の赤ちゃんに補助栄養を与えるために使用します。別の母乳容器で補助栄養を準備します。詰まりを防ぐため、粉末フォーミュラを完全に溶かします：

- 補助栄養を最大 37 °C まで温めます。
- 母乳を電子レンジや沸騰水の入った鍋で温めないでください。ビタミン、ミネラルその他の重要な栄養分が失われたり、お母さまや赤ちゃんが火傷する恐れがあります。同様の理由から、冷凍した母乳を、電子レンジや沸騰水では解凍しないでください。

3



チューブと上部バルブを、アタッチメントリングに通します。カチッとはまるまで、バルブを押し込みます。チューブを引っ張らないでください。

6

チューブの両側を、アタッチメントリングのスリットに固定します。SNS を首にかけたときに、母乳の漏れを防ぐためです。
SNS システムを首の周りにかけ、チューブを下にぶら下げます。

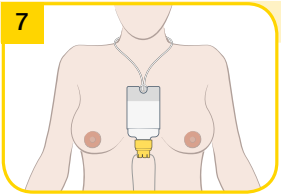
4

ボトルにネックコードを固定します。
ボトル下部の穴を通しながら、コードの柔らかい末端（クリップのない部分）を引きます。前のステップで作ったコードの輪に、金属クリップのある末端を通して引きます。コードが固定するまでしっかりと引きます。

5

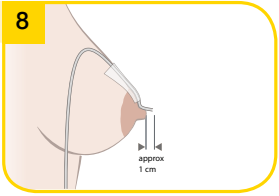
別の容器で準備・加熱した補助栄養を、ボトルに入れます。アタッチメントリング、バルブ、チューブを、ボトルに回して取り付けます。ボトルを優しく押して、母乳をチューブに流します。粉末フォーミュラを使用しているときは、フォーミュラが詰まって自由に流れないことがあります。この場合は、粉末を完全に溶かしてください。

7



ボトルショルダーが乳首の高さにあることを確認します。ボトルを上げるには、コードのロックを外して、ロック全体を下に動かします。ボトルを下げるには、（ロックしていない状態の）ロックを上に動かします。ボトルが適切な位置に来たら、ロックを固定します：

8



テープを約 6 cm の長さに切ります。乳首から 1 cm 飛び出るように、チューブを乳房に取り付けます。これは、授乳中に、乳首が（伸びたときに）チューブの開口部をふさがないようにするためです。この手順を、もう一方のチューブと乳房にも同様に行います。

7. 授乳用品

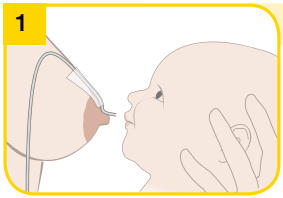
⚠ 注意

- 残っている母乳が乾燥したり、細菌が繁殖したりするのを防ぐために、ご使用後はすぐに全部品を洗浄してください。

! 指示

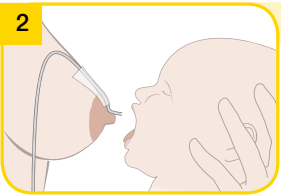
- SNS をご家庭のプライベートな環境でお使いになるときは、助産師または授乳コンサルタントによる監督が必要です。

1



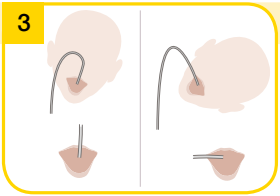
第 6 章の指示に従って、SNS を組み立てます。赤ちゃんを乳房に近づけるように抱きます。赤ちゃんの口を開けさせるには、赤ちゃんの下唇をくすぐってあげてください。乳首と赤ちゃんの口との間に、少し隙間を残します。

2



赤ちゃんが口を大きく開けるのを待ち、赤ちゃんにおっぱいを与えます。赤ちゃんが口を大きく開けた時にだけ、乳首への吸い付き（ラッチオン）をさせます。うまく授乳するには、正しい吸い付き姿勢を保つことが不可欠です。赤ちゃんが乳房とチューブの両方を受け入れることが必要です。

3



赤ちゃんの口の中で、チューブが正しい位置にあることを確認します：チューブは、上唇の真ん中、または口角から入れる必要があります。お母さまと赤ちゃんの両方が、SNS に慣れる必要があることに注意してください。正しい位置を見つけるのが難しいときは、赤ちゃんを乳房から一旦離してから、再度試みます。何度も試みることが重要ですが、力づくで無理に試みないでください。

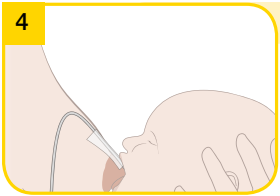
i 情報

流れの調整
母乳の流れを、次のように調整できます:

母乳の流れを増やすには:
- ボトルを押します。
- ボトルを持ち上げます:首の後ろにあるコードロックを外します。ロック全体を下に動かします。ボトルが適切な位置に来たら、ロックを固定します。
- 大きいサイズのチューブを使用します(赤いバルブ/チューブは小、白は中、透明は大)。

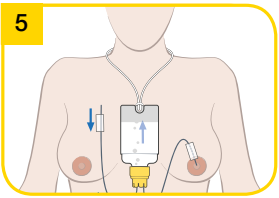
母乳の流れを少なくするには:
- ボトルを下げます:首の後ろにあるコードロックを外します。ロック全体を上に動かします。ボトルが適切な位置に来たら、ロックを固定します。
- 小さいサイズのチューブを使用します。

4



お母さまと赤ちゃんが正しい位置を見つけたら、赤ちゃんにおっぱいを与えてください。赤ちゃんがおっぱいを吸い始めたときは、アタッチメントリングのスリットからチューブを外してください。SNS ボトルの母乳がチューブに流れます。授乳を続けてください。

5



母乳の流れが悪いときは、2 つ目のチューブも外します。チューブの開口部を上に向けて、ボトルの底と同じ高さになるように、体に取り付けます。
また、母乳の流れが弱すぎるときや、強すぎるときもあります。母乳の流れの調整方法については、左の ‘情報’ 欄をご覧ください（「流れの調整」）。

授乳を約 15 分ほど続けたら、もう一方の乳房に変えます。1 から 5 のステップを繰り返します。

8. SNS の分解

- ボトルからコードを外します。
- アタッチメントリングをボトルから回して外します。
- 残った母乳を捨てます。
- アタッチメントリングからバルブとチューブを外します：リング内のバルブ（チューブ取り付け済み）の裏面を押します。
- バルブからバルブホルダーを外します。
- 第 5 章「洗浄」に記載するとおり、すべての部品を洗浄します。

9. 廃棄の方法

SNS の廃棄は地域の条例に従って行ってください。

10. 製品タイプと消耗品

メデラ社の販売代理店を通じて、以下の製品タイプと消耗品を提供しています。製品の注文にあたっては、名称または対応する番号を指定してください。

製品タイプ

製品番号	製品
009.0005	SNS (EN/DE/FR/IT/NL/ES/PT/SV/PL/RU/KO/ZH)

消耗品

製品番号	製品
009.0024	チューブ/バルブセット（小・中・大チューブが付属）

11. 技術規格

作動時

輸送/保管

輸送/保管

輸送/保管/作動時

作動時

Medela AG
Lättichstrasse 4b
6341 Baar, Switzerland
www.medela.com

International Sales
Medela AG
Lättichstrasse 4b
6341 Baar
Switzerland
Phone +41 41 769 51 51
Fax +41 41 769 51 00
ism@medela.ch
www.medela.com

©Medela AG/200.7346/2014-11/C